

風っ子ファーム 報 告 書

国立赤城青少年交流の家では、平成 28 年 4 月 24 日（日）、5 月 29 日（日）、6 月 18 日（土）、7 月 9 日（土）、8 月 1 日（月）～2 日（火）、10 月 15 日（土）、11 月 13 日（日）、平成 29 年 1 月 21 日（土）、2 月 26 日（日）の日程で、通年教育事業「風っ子ファーム」を開催しました。

この事業は、前橋市柏倉にある畑を拠点に農業を中心とした体験活動を通年実施し、野菜の育て方や命の大切さについて学ぶことを目的としたものです。あいさつをしよう。いろいろなもの（施設・食べ物・仲間）に感謝をしよう。自分たちが食べている野菜がどんな風に育つのか知ろう。聞き上手になろう。ということテーマに行われました。

参加対象は、小学校 4 年生から中学校 3 年生までで、群馬県内の小学生 16 名（男 9 名・女 7 名）が集まりました。そして、集まった仲間で 1 年間の活動を行いました。

【第 1 回】 4 月 24 日（日）畑づくり・種まき 場所：風っ子ファーム畑

年間を通してお世話になる大崎つりぼりに集合し、開会式を行いました。風っ子ファームの畑に移動し、仲間づくりのゲームや畑の看板作りを行うと少しずつ緊張もほぐれていきました。苗を植えるために、生えている雑草を抜き、鍬やスコップを使って土をきれいにたがやしました。土の中のイモムシ、近くの小川にいるカニ等、子どもたちは色々なものを発見していました。お昼には持参したお弁当をみんなで食べました。午後は、耕して畝を作った畑にマルチをかけ、雑草が生えないようにします。配布されたシャベルを使って距離を測り、なす・きゅうり・ピーマン・ミニトマト・すいかの苗とじゃがいもの種イモを植えました。それとは別に、とうもろこし・枝豆・しその種をポットに植えました。

最後に植えた野菜が元気に育つように全員で水やりをしました。



【第2回】 5月29日（日）畑見学 場所：福豚の里とんとん広場ざわざわの森畑

野菜を育てるには、なにをすればいいのか、どんな工夫が必要なのか。実際に畑を管理している場所に行ってみ学をさせてもらえることになりました。場所は福豚の里とんとん広場のざわざわの森です。とんとん広場で提供されている野菜は、ほとんどがざわざわの森で作られているそうです。お世話になるのは畑の管理をしている高澤さん。子どもたちに風っ子ファームの畑にも植えたじゃがいもの芽かき作業を体験させていただきました。一つの苗に栄養が行き届くように細い芽は抜き取り、「あかざ」と呼ばれる雑草を抜いて整えます。作業の途中でキジの卵を発見し、子どもたちは大興奮でしたが、また親鳥が戻ってこられるようにそっとしておきました。その後、畑にある梅の木やキュウイフルーツ、ブドウの木を見せてもらいました。畑を管理するのは大変だが、電気柵を作ったり、とげのあるカラタチの木を植えたりしてイノシシやシカ等の野生動物から野菜を守っているのだと話してくれました。

野菜は植えるだけでは育たないのだということを知ることが出来ました。



【第3回】 6月18日（土）畑整備・さつまいも植 場所：風っ子ファーム畑

畑のスイカやミニトマトは実をつけ始め、なすやきゅうりは花を咲かし始めていました。子どもたちは風っ子ファーム畑に集合し、前回のざわざわの森での経験を活かして、野菜の周りに生えた雑草の草むしり、じゃがいもやミニトマトの芽かき作業をしました。初めは芽かきをするのに抵抗があった子どもたちも慣れてくると慎重に選んで抜き取っていました。第1回の活動の時にポットに種を植えた、とうもろこし・枝豆・しそが芽を出したので、それを畑に定植しました。

この日は、さつまいもの苗と富士見町地域づくり連絡会から頂いたひまわりの種を植えました。ひまわりの種は虫に食べられてしまわないように青色の薬が塗ってありましたが、「本当の色は黒（黒と白）」と、知っている情報を話し合っていました。さつまいもは、畑をきれいに耕した後、土に寝かせるようにして植えました。畑の整備は大変ですが、ざわざわの森での体験を経た子どもたちは、手を止めることなく作業をしていました。



【第4回】 7月9日（土）夏野菜収穫 場所：風っ子ファーム畑

畑のなす・きゅうり・ミニトマト・ピーマンは収穫時期になりました。スイカはまだ収穫できませんが、直径 20 cmほどの大きさにまで成長していました。

いよいよ楽しみにしていた夏野菜収穫です。今回は、きゅうり・なす・ミニトマト・ピーマン・じゃがいもを収穫します。野菜を傷付けないようにハサミを使って丁寧に収穫します。収穫が済んだと思っていた場所で、見逃していたものが見つかる飛びつくように収穫していました。収穫を終えて、氷水で冷やしておいたきゅうりとミニトマト、あらかじめ準備していたポテトサラダを食べました。「この後お昼ご飯食べられない」という声が聞こえるほど、たくさん食べていました。採りたての野菜はおいしいのだと感ずることができました。



【第5回】 8月1日（月）～2日（火）サマーキャンプ

場所：風っ子ファーム畑、大崎つりぼり、福豚の里とんとん広場、フラワーパーク宿泊

（1日目）畑の野菜はどんどん実ります。残念ながらスイカは野生動物に食べられてしまいましたが、とうもろこしや枝豆は食べごろになっていました。

子どもたちは畑に集合し、きゅうり・なす・ミニトマト・枝豆・とうもろこし・しその収穫を行いました。とうもろこしや枝豆を収穫するなど初めての体験で戸惑っていましたが、「とれたー！」と食べる真似をして喜んでいました。お昼は持参したお弁当を食べて、大崎つりぼりへ移動しました。

大崎つりぼりでは、松村さんの説明をうけてマス釣りをしました。自分のマスを釣れた子は、まだ釣れていない子が釣れるまで一緒に手伝っていました。釣った魚は自分たちでさばきます。初めは嫌がっていた子も周りの子が手助けをしてくれたおかげできれいに内臓をとりのぞくことができました。魚に名前を付けている子もいました。

夜は収穫した野菜で夕飯づくり。メニューは、ごはん、冷汁、茹でとうもろこし、焼きなす、魚の塩焼き、刺身を食べました。

ご飯を食べた後にフラワーパークに移動してテント設営をしました。説明を聞いて、その後は自分たちで取りかかります。その後雨が少しやんだので、夜のフラワーパークを散歩しました。

(2日目) 朝ごはんはオープンサンドです。パンにハムやチーズなど好きな具材をはさんで食べました。片付けをした後はとんとん広場へ向かいます。

とんとん広場ではミニブタを見てから、とんとん広場の林社長が豚肉から骨を取り除く様子を見学しました。作業を見る目はみんな真剣でした。そして楽しみにしていたウインナーづくりをしました。自分のできることを見つけて行動する姿がいろんな場所で見られました。

「いただきます」を言って、作ったウインナーを試食。試食がなくなることはほとんどないようですが、みんなは完食しました。自分で作ったウインナーはやはり一味違うようです。

最後にふりかえりをしました。このキャンプで印象に残ったことを話し合った後、自分の思いを絵でも言葉でも好きなように紙に書きました。この2日間、仲間と一緒にご飯を作ったり、テントに泊まったりしたことで、自然と2人組になって作業をしたり、困っている子に声をかけたりと更に仲が深まったように見えました。





【第6回】9月18日（日）秋野菜植えつけ 場所：風っ子ファーム畑

予定していた活動は豪雨のため中止となりました。

【第7回】10月15日（土）たき火・焼き芋 場所：風っ子ファーム畑

子どもたちは畑に集合し、濡らした新聞紙とアルミでさつまいもを包み、焼き芋をする準備をしました。

芋が焼けるのを待つ間、にんじん・大根・ほうれん草の種をまきました。それぞれ種の特徴がありますが、にんじんは発芽しやすいように指でねじってからまきました。いよいよ、さつまいも収穫です。さつまいもを傷つけてしまわないように先に葉っぱを切り取って、土を掘り起こします。もうないのではないかと、思う場所も大きいスコップを使って、夢中になって探していました。その後はたき火をしながら焼き芋が出来上がるのを待ちました。

焼きたてアツアツのオレンジの焼き芋は、甘くておいしい。子どもたちはあっという間に食べ終えてしまいました。たき火をするときの約束（火を持ち出さない・軍手をつける・走らない）をお互いに声をかけながら守ろうとする姿勢がありました。



【第8回】11月13日（日）野外調理

場所：風っ子ファーム畑・国立赤城青少年交流の家

畑に集合し、前回植えた大根とブロッコリーの苗が大きく育つように、2つある芽を1つにして養分が行き届くようにしました。抜いたブロッコリーの苗がもったいないからと言ってお家に持ち帰っている子もいました。次に、夏にたくさんの実がなったなすの畑を整備しました。その後、ほうれん草を収穫しました。なるべく鮮度を保つためにハサミを使って根本を切りとります。子どもたちは、ほうれん草の葉がバラバラにならないように慎重に作業をしていました。収穫した野菜を持って、国立赤城青少年交流の家に向かい、お昼ご飯を作ります。メニューは、ご飯、豚汁、ほうれん草の炒め物です。自分たちで薪を組んで火を起こし、ご飯を炊きました。野菜はちょうどいい大きさに切り、炒めたり煮込んだりしました。自分たちで収穫して、自分たちで作った食事は格別に美味しかったようで、残さず全て食べきってしまいました。

食べ終わった後には、使ったお鍋や食器を片付けました。黒くなったお鍋はなかなか洗うのが大変でしたが、冷たい水に弱音もはかずに元あった時よりも綺麗にしていました。



【第9回】1月21日（土）餅つき

場所：風っ子ファーム畑・大崎つりぼり

畑に集合し、大根の収穫を行いました。想像していたよりは小さかったようですが、大根を真上から抜くという感覚が楽しかったようで、すぐに収穫が終わってしまいました。

大崎つりぼりに移動し、お餅つきの説明を受けて準備を進めます。収穫した大根はおろして辛味大根にし、あらかじめ準備しておいたおしるこを温めます。いよいよ楽しみにしていたお餅つきです。声を出して息を合わせました。重たい杵を高く持ち上げ、何度も餅をつきました。ついたおもちは一かきサイズにして丸め、一人ずつ器に盛りつけます。みんな「いただきます」をして美味しく食べました。まだ寒い日の餅つきでしたが、自分でついたお餅は美味しかったようです。食べ終わった後は使った鍋や食器をみんなで綺麗に片付けました。



【第10回】2月26日（日）卒業式・1年間のまとめ

場所：国立赤城青少年交流の家

風っ子ファーム最後の活動は、国立赤城青少年交流の家で行われました。1年間の様子をまとめたスライドショーを見て活動をふりかえります。これまでどんな野菜を育ててきたのか、どんな活動をしてきたのか、何が印象に残っているのか。初めはいつもと違う雰囲気緊張していた子どもたちも、畑の整備やキャンプでの活動を思い出すと自然と笑顔になり、だんだんと賑やかになっていきました。子どもたちは、畑で収穫したてのきゅうりやさつまいもを食べたこと、夏のキャンプでのテント宿泊が特に印象に残っているようでした。自分の楽しかったこと、印象に残っていることを絵や文章にして自分なりに紙に書いて、一人一言ずつ感想を発表しました。



【まとめ】

畑の草むしりから始まり、土を耕し、畝をつくり、種や苗を植え、収穫をして、その野菜を使って調理を行いました。そうすることで「この葉っぱは、あの野菜」ということや「この野菜は、あんな料理になる」ということなど、野菜に対する見方の幅が広がりました。また、魚釣りをしてその魚の内臓を取り除いたり、豚の骨抜き作業を見学したりして、普段食べているものへの関心が高まりました。そのような体験と農業体験を行うことで、魚や豚だけではなく「野菜も生き物」であり、命をいただいているのだということを知ることができました。そして、1年間活動してきた仲間たち。暑い夏の日々の畑作業、自分たちで分担しながら食事を作った野外炊事、雷や雨の音が大きくて眠れない夜を過ごした夏のキャンプ、どれも一人ではできないことばかりでした。

この1年間の活動を通して体験したこと、学んだことが今後の生活に生きることを願っています。

担当：総務係 渡邊あゆみ